



いきいきかわら版仙台支部第46号

会員の皆様におかれましては、新春をお健やかに迎え頂いた事と存じます。

本年も宜しくお願い申し上げます。

1月20日は24節気の大寒を迎え、2月4日には立春を迎えます。暦の上では、春を告げておりますが、東北の冬はまだまだ寒さも厳しく、体調を崩しやすい時期でもあります。今年の冬は、コロナに加え、インフルエンザも流行し、外出も憚れるようですが、感染対策を万全にして、安心・安全にお過ごし下さい。

今年度は、更なる組織の充実を図るために、仙台支部が所属している一般社団法人シルバーパートナーズ（略称SP）において、組織内企業の立ち上げを準備しております。

SPには仙台市内で高齢者の皆様のお困りごとを解決しようと49社が所属しております。

この企業の中から、仙台支部が中心となつて、高齢者見守りや終活全般に取り組む企業がひとつの会社となり、幅広く、高齢者の皆様の生活に関わることで安心・安全な生活環境の提供と心配の無い老後をお過ごし頂くという現在、準備を進めております。メンバーには、高齢者住宅紹介会社、施設入居時の共済保険会社、葬儀社、お墓じまい相談会社、遺品整理会社等が含まれます。

これらの会社が一つとなり、仙台市、老人クラブ、地域包括支援センター、高齢者施設事業者等に対し、様々な提案とサポートを行つて参ります。いきいきつながる会は身近に寄り添つて安心した生活をお届け出来る様、今年も努力して参ります。

本年も弊会とのお付き合いを宜しくお願い申し上げます。

今月号では、高齢者の皆様が疑問に思われる高齢者施設について、ご紹介致します。

**シニア福祉アドバイザー
潔のワンポイント講座**

本内容は、高齢者施設専門で紹介されているウチシルベ仙台店様からの情報をもとに、ご紹介致します。

【高齢者施設の種類について】

高齢者施設というと「イコール」老人ホームだと思つている人も多いです。厳密には高齢者施設には老人ホーム以外の分類があります。それぞれ目的や入所の仕方も異なります。

高齢者向け施設には、一般的に「有料老人ホーム」「高齢者住宅」「グループホーム」「介護保険施設」「軽費老人ホーム」が含まれます。

それぞれに対象となる方や費用・設備が異なるので、各介護施設の特徴を確認しておきましょう。

【介護老人保健施設】

「老人保健施設」「老健」などと呼ばれる施設です。要介護1～5に認定された方が入所の対象となります。

サービスの提供はリハビリテーションが中心の医療サービスとなります。医療サービスの中心なのでスタッフも介護職員のほか、看護師や医師、理学療法士、作業療法士といった専門職が配備されています。

また、施設への入所期間はだいたい3ヶ月となっており、その期間が終わったら在宅での生活が問題なく行えるようにリハビリのケアが行われます。期間延長も可能です。

【特別養護老人ホーム】

頼れる家族がないため、在宅での生活が難しくなった人が主に入所するのが特別養護老人ホームです。要介護3～5の人が対象で、生活に必要な入浴や排泄、食事といった介護を受けることとなります。

誰でも入所できるわけではなく、行政の入所判定審査会にクリアした人が入所することができません。家庭状況や介護度の深刻度が高い人ほど先に入所することができ、現状は入所待ちの人が何人もいますので入所難易度が高い施設となっています。



【有料老人ホーム】

特別養護老人ホームより費用は高くなりますが、サービスの内容はよく似ています。全部屋個室となっており、生活に必要な介護はすべてお願いできるのでニーズの高い人気の施設です。数も多く、金額も様々ですが安心して生活を送れるという意味では、人気が高い施設です。



次回へ続きます。